



TITLE:

アオスジアゲハ(チョウ目, アゲハ  
チョウ科)の塩分補給

AUTHOR(S):

久保田, 信

---

CITATION:

久保田, 信. アオスジアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給.  
KINOKUNI 2012, 81: 12-12

ISSUE DATE:

2012-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180722>

RIGHT:

© 和歌山昆虫研究会

- 久保田 信. 2009. 瀬戸臨海実験所構内に出現した熱帯性ゴキブリ類の第3の種, サツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 22: 36.
- 久保田 信. 2011a. 和歌山県白浜町の瀬戸臨海実験所構内に大量出現した熱帯性のサツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 日本生物地理学会会報, 66: 215-216.
- 久保田 信. 2011b. 夏から初冬に瀬戸臨海実験所構内に大量出現した熱帯性のサツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科). 瀬戸臨海実験所年報, 24: 53-56.

(くばた しん 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)

## アオスジアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給

Supply of salt by *Graphium sarpedon nipoponum* (Lepidoptera, Papilionidae)

久保田 信

主として関東以西に分布し南方系のアオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipoponum* Fruhstorfer の1頭(両前翅が多少擦り切れている)が, 和歌山県白浜町の瀬戸臨海実験所“北浜”で, 2012年5月27日の9時15分頃, 潮がかなり満ちている時に, “北浜”の船着き場の東側の岩場と, そこから東に10mほど離れた砂浜で数分ほど飛び回りながら, 満潮線の砂浜でストローのように口を伸ばして海水を吸っていたのが観察された。砂浜に点々と打ち上げられたホンダワラ類にもとまって吸水した。

前報の同科のモンキアゲハに続き(久保田, 2011a), 本種も1日の内で温度が高くない朝に吸水し, この行動は体温調節ではなく塩分補給であろう。同様に白浜町の瀬戸漁港でもセセリチョウの一種が同じような吸水行動をした(久保田, 2011b)。

### 引用文献

- 久保田 信. 2011a. モンキアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給 KINOKUNI, (79): 15.
- 久保田 信. 2011b. セセリチョウの一種(チョウ目, セセリチョウ亜科)の塩分補給. KINOKUNI, (80): 15.

(くばた しん 〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)